



臨嶺会会報

第36号

2015年春発行

目次

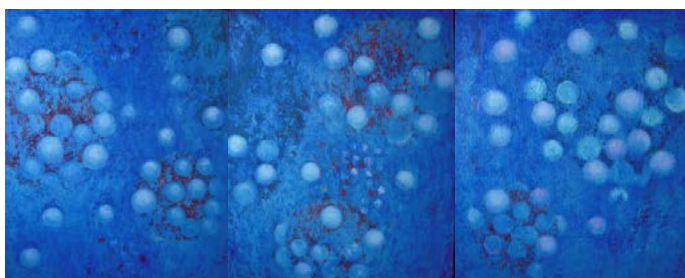
特集	カミングホーム	…… 20
前月号(第35号)近況報告より…… 2~4	臨検1回生 短大9回生	
「キラッ」「ほんわか」「ニヤッ」	最近の検査	…… 21
臨嶺会会員の近況報告	「糖尿病診療における持続血糖モニター」	
「ベストショット」	松本便り	…… 22
退職される教員/新任教員	卒業生の進路	…… 23
羽山正義先生	事務局からのおしらせ	…… 23
亀子文子先生	2014年のできごと	…… 24
長野則之先生	編集後記	…… 24

本格的に絵画を始めたのは25年前。

近所の「齋藤美術研究所」に通い、美大受験生に混じって石膏デッサンや油絵を学びました。その後指導者の出身の武蔵野美術大学で学んでみたいと思うようになり、通信教育学部へ入学しました。短大(2年)を8年かけて2001年に卒業しました。在学中から公募展へ出品し、2000年には山梨県勤労者美術展で最高賞を受賞しました。仕事、家や子供のこと、舅・姑の介護など両立は厳しいものがありましたが、自分を表現できる喜びがありました。

「キラッ」

衛3回生卒 樋口(小谷)康子 さん
【いのちへの想い】

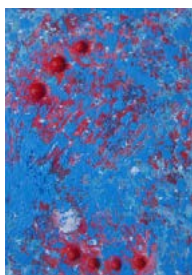


「BREATH」

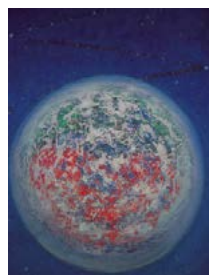
2003年に初個展を開いて以来、9回の個展(山梨県内や東京)、グループ展への参加など作家活動を続けています。絵のテーマは一貫して「いのちへの想い」としています。これは医療の仕事に携わってきた私の矜持でもあります。「胎芽」や「種子」などのイメージをハート形・円形などの形と明快な色彩で表現してきました。最近ではBREATH(呼吸)、field(フィールド)などのタイトルで制作を重ね発表しています。

一日に何時間描いているの?とか、一枚描くの何日かかるの?とよく質問されますが、実際はぼーっとしていたり、描き

かけを眺めている時間のほうがはるかに長いです。個展は会場にあわせて大きさや数、色などの構成を考え同時並行で作っていくので、プランにじっくり時間をかけます。「良い絵」とはなにかを常に問いかけながら、独創性のある表現を模索していきたいと思っています。でもまずは健康がだいじですねっ!



「BLOOD」



「胎芽」



「field」



2015年は山梨県内で、4月に青群美術展、12月にムサビ山梨支部展に出品予定です。個展は2016年を目標にしています。皆様にもご高覧いただける機会があれば幸いです。

作家略歴

- 長野県諏訪市生まれ
- 齋藤美術研究所にて齋藤武士・窪田正昭先生に師事
- 武蔵野美術大学短期大学卒業
- 個展(ハーバース・ミル 甲府市)
- 〃
- 個展(ギャラリー野ばら 富士吉田市)
- 青群美術展(山梨県立美術館) (~2010)
- 個展(ギャラリー-LaMer 東京 銀座)
- 〃
- 二人展(伊藤竹子X樋口康子)(裾野ギャラリー-Abend 富士吉田市)
- 個展(ギャラリー-LaMer 東京 銀座)
- 〃
- 個展(ギャラリー三彩洞 甲府市)
- グループ展(ぶどうの丘美術館 甲州市)
- 個展(ギャラリー-LaMer 東京 銀座)
- 二人展(伊藤竹子X樋口康子)(桔梗屋美術館通り店ギャラリー 甲府市)
- グループ展(ぶどうの丘美術館 甲州市)

2014年11月 やまなし絵画の会展
(山梨・ぶどうの丘美術館)

2014.11.23

現在 無所属

個展を中心に活動中

毎年私の年賀状をもらうかたならどれほど旅しているかご存じだと思われませんが、年に多いときは3度ほど国外逃亡いたしております。休みがもらえて羨ましく思う方もいらっしゃると思いますが、それ以外は休みなく働いております。がんばって仕事している自分への褒美と投資です。

去年はタイへいきました。子象と写真がとれ、しかも触ったりして満足しておりました。子象がかわ

わいいポーズをとるたびに大喜び。大人の象に乗ってみたのですが、乗り心地は評判通りあまりよくはないです。でも、左右に揺られながら、これも悪くないと遠くの遺跡を眺めていました。タイといえば、もうひとつ忘れてはならないものがニューハーフの皆さん。いわゆるオカマさんたちのショーが夜な夜な行われております。この完成度が高いこと！ちゃんとお尻も丸い。でも、

「ほんわか」 短21回生卒 長井 円 さん 【旅人】

この世界にもお笑い系はいるようで、ワハハ本舗にでてくるようなオカマさんもいて、案の定若い日本人の男の子達が餌食になっておりました。かなり満足な旅でした。



ほほえみの国Thaiの象ちゃん



おかまちゃん

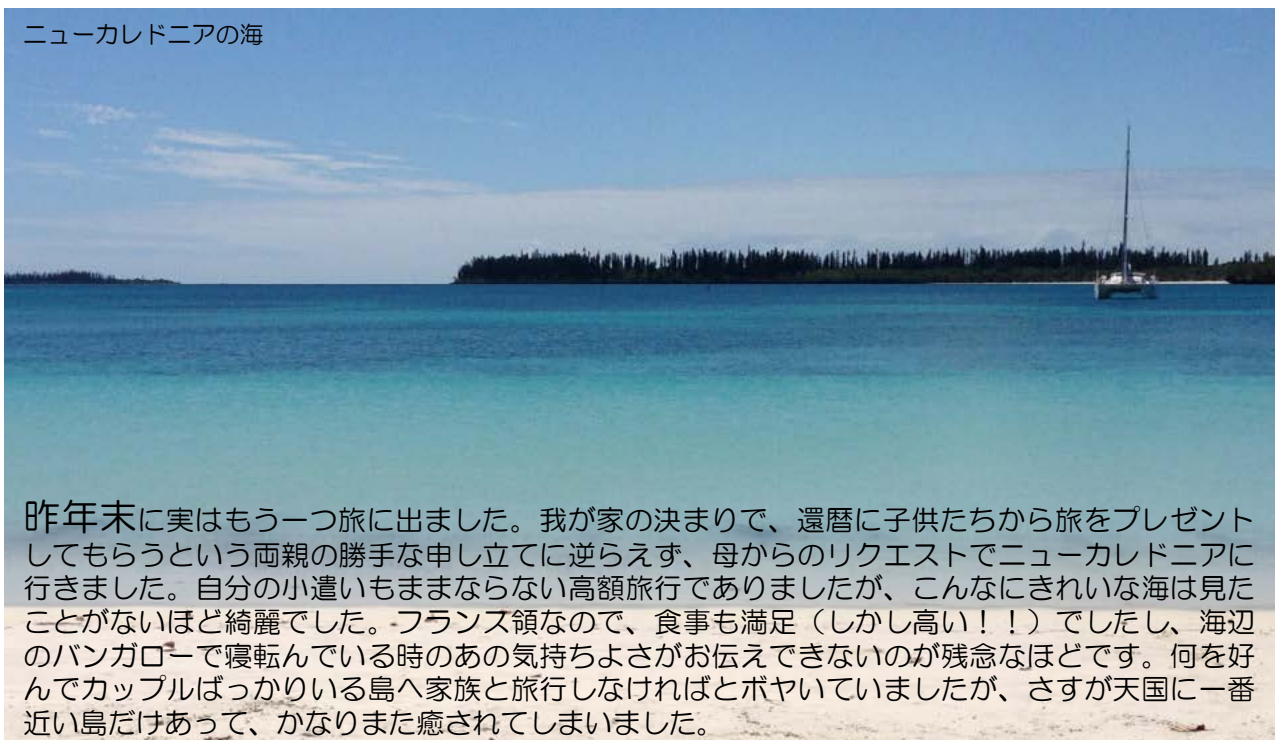


お笑いおかまちゃん



象に乗る

ニューカレドニアの海



昨年末に実はもう一つ旅に出ました。我が家の決まりで、還暦に子供たちから旅をプレゼントしてもらおうという両親の勝手な申し立てに逆らえず、母からのリクエストでニューカレドニアに行きました。自分の小遣いもままならない高額旅行でありましたが、こんなにきれいな海は見たことがないほど綺麗でした。フランス領なので、食事も満足（しかし高い！！）でしたし、海辺のバンガローで寝転んでいる時のあの気持ちよさがお伝えできないのが残念なほどです。何を好んでカップルばかりいる島へ家族と旅行しなければとポヤいていましたが、さすが天国に一番近い島だけあって、かなりまた癒されてしまいました。

特集 前号(第35号) 近況報告より

クイズ番組が好きでよく観ていた私が、病気を機に2013年4月に思い切ってアタック25予選会に応募しました。

7月の長野予選会には100人近く集まっていたのですが私のようなおばさんはいなくて、場違いな所に来てしまったという雰囲気でした。まず8分間で30問の筆記試験があり、すぐ合否発表。その後自己アピールの面接がありました。

終了後は参加者同士、ライバルという感じはなくて和気あいあいだ若い人達とお茶をして帰ってきました。初めての経験で、予選会参加だけで十分満足でした。それがまさか本選に出場できることになるとは・・・。



予選会合格通知が届き、8月30日にはケータイに番組の係の方から本選参加の連絡がありました。出場の可否の返事をしなくてはいけないのですが、収録は平日でそれも大阪です。上司に相談し、有休をもらい出場できることになりました。



収録は10月2日。50代大会でした。



岩手から妹が、静岡からは娘一家が応援に駆け付けてくれました。予選会は放送局の会議室だったので、実質テレビ局初体験(笑)。メイク室で男性出場者をも含めてメイクをしてもらい、説明を受けて、練習のクイズ。その後すぐ本番でした。

パネルは増えたり減ったりしながらも、アタックチャンスをものにできたので、最終的にはなんとかトップをとることができました。残念ながら地中海ペアクルーズをかけたクイズは人物名を答えられず逃してしまいました。



収録は短い時間ではあったけれど、夢のような本当にいい経験をさせてもらえました。放送はどんなふうに編集されているか、楽しみでもあり心配でもありで、結果はわかっているのにハラハラドキドキして観ていました。

アタック25は1回出場すると5年間出られません。治療を頑張り5年後地中海クルーズのリベンジができればと思っています。アタック25は中年以上の方が出場しやすい感じですよ。みなさんもレッツチャレンジ!!

臨嶺会会員の近況報告

衛1 久保田瑞枝 さん

『古い着物の美しさ』

私は日々何かに癒されているのだろうか？ ひねった頭の先に着物が一枚ぶら下がっている。私は部屋に着物を掛けて眺めるのが好きです。今は麻の着物が、その前は琉球燕の単衣、さすが検査技師と誉められた亀の子記号が繋がった紬は次回にと。娘の海外拳式で振袖を着せることから始まった着物との出会い、今ではTシャツより安く売られている古い着物の美しさに魅了されています。

お次は、阿部（椎谷）裕子 さん



衛2 中山（武重）節子 さん

『ベレー帽かぼちゃ』

私の癒しは家庭菜園の野菜達です。ナス、キュウリ等レギュラーの他バターナッツかぼちゃ、ゼブラ茄子と初めての野菜も収穫してきました。今年の新作が写真のベレー帽かぼちゃです。面白い形ですね。そうなんです、観賞用かぼちゃなんです。食いしん坊の私はどんな味なの？？？と食べたい誘惑に・・・癒しになってませんね。

お次は、橋本（細田）明子 さん



衛3 岡部（小林）和代 さん

『花に癒されて』

庭の松が枯れてしまい切りました。空いた所に、鉢植えを並べ花を植えました。何を植えたか忘れていても、季節になれば花を咲かせてくれます。春は水仙や忘れな草、夏はジニアやおしろい花、秋はコスモスとシュウメイギクが主役です。こぼれ種で増え、私を楽しませてくれます。

お次は、佐野光江 さん



衛4 山本（松田）妙子 さん

『このごろ思うこと』

今年、息子家族が四月からドイツのハイデルベルグで生活していることで、思いがけず一週間ドイツに出かける事になりました。全くの観光ではないドイツでの生活、ランチを持ってネッカー川に遊びに出かけます。鴨が群れる水辺を歩き、公園で遊ぶ孫たちと戯れます。また、市場に出かけ、食材の買い出しをしたり、のんびりとした幸せな時間を過ごすことが出来ました。

日本に戻り、現実と向き合うと、本屋さんに入り、「60代にしておきたいこと」「老いの才覚」などの本を手にしてしています。そろそろ、人生の最終章をスタートしなければと思っているこのごろです。

お次は、藤森（笹岡）澄子 さん（編集委員会推薦）



臨嶺会会員の近況報告

衛5 河合（木下）涼子 さん

『コンテナガーデン』

関西で暮らし、約40年になります。20年間ほどボランティアで海外の留学生のホームステイを引き受けています。異文化にふれ、自分で見て知りたいと思い、旅に出ています。ガーデニングと旅行が“私のいやし”です。

お次は、原（久保田）千恵 さん（編集委員会推薦）



衛6 塚田浩教 さん

『犀川神社秋季例大祭』

室町時代の頃から伝わるとされる民俗芸能の獅子舞。長野市の無形文化財に指定され、毎年9月21日に神社に奉納される。全国からの見物客も多いと聞く。

『小西獅子方』の仲間と、地元への恩返しと考えている。

お次は、石田（竹内）章子 さん
（編集委員会推薦）



臨1 萩原かをる さん

『あれから40年』

県立病院から始まった私の臨床検査技師人生も、そろそろ終わりに近づいてきました。

振り返ると色々なことがありました。自分のわがままからわずか2年半で県立病院を退職。10年程のブランクの後、新聞の求人広告を見て採用された病院は、院長が急死されたため医院となり、他の職種仲間と共に職を失いました。これからは主婦業に専念するかと思っていたところ、ある病院より産休要員にとお話があり、その契約が切れる頃また別の病院から声を掛けていただくという幸運が3回も重なりました。今は長野中央病院で月に10日ほど採血業務を主に働いています。それもこの3月で終わります。

さて第2の人生、何をやろうか思案中です。

お次は、平沢（宮沢）多津子 さん

臨2 草間（福田）佳子 さん

『オカリナ』

臨床検査技師学会でご縁があり、数年前からオカリナを始めました。小さくて、どこへでも持っていけるなんて軽い気持ちで始めたのですが、気温や息の強弱で音の高さや音色が変わり、想像以上に難しく、奥の深い楽器でした。先生からは「音楽」が「音が苦」に感じることもあるかもしれないけれど4年間はがんばって、と言われて、もうすぐその4年経とうとしています。良い先生、良い仲間めぐり会い、教えていただけたこと、学べることを楽しく幸せなことだと感じています。オカリナの音色に癒される毎日です。

お次は、川崎（前沢）香代子 さん（編集委員会推薦）



臨嶺会会員の近況報告

短1 池川（降旗）美智子 さん（池川皮膚科医院）

『ありがとうございました』

開業して9年目になりました。思いのほか忙しい毎日。あっという間に1ヶ月がすぎ、月始めにはしせ。20日には通勤簿をまとめFAXで送り、給与の振込み。様々な雑用をこなすのみの毎日です。そんな中の私の癒やし・・・

一日終えたときの一杯のお酒、でしょうか。庭に咲くパンジー、夏には日日草、デージー、様々な草花には、かなり癒やされております。そして何よりは、「ありがとうございました。」と言って下さる患者様のお言葉。これにまさる癒やしの言葉はありません。膝は少々痛みますし、小さな文字は見えなくなっておりますが、あと少し、スタッフと共に、頑張ってみようと思っております。

お次は 斉川（大輪）祐子 さん

短2 池田（北原）明子 さん（健和会病院検査科 技師長）

『元気でやっています！』

思えば、「手に職を・・・」と親に言われ、叔父が検査技師養成学校に勤務していたこともあり臨床検査の道に、入職当時は3人職場でした。小規模施設での検査のあり方に戸惑いながらも、家族の支えもあり、長年勤務継続してこられることができました。そんな中、次男が臨床検査の道を目指してくれた時はうれしかったですね。医療経営が厳しい民間病院で、先輩方が作り上げてきた職場を次世代へ繋ぐことに奔走中。年々、“これでもか”というくらいの仕事に押しつぶされそうになりながら、しぶとく？（笑）やっています。

お次は、肥後（北原）美千代 さん



短3 大野（鈴木）さとみ さん

『今日も部活か？』

バウンドテニスを初めて10年、週3回くらい練習してます。毎月のように試合もあり、小さなコートですがなかなかスリリングです。息子には 今日部活か？とからかわれながら、いそいそ出かける私です。

お次は、浅地久恵 さん

短4 藤田（内川）典子 さん

『ハロウィンパーティー』

自宅で英語教室をしています。これまで友達と積極的な会話が出来なかった私ですが、この世にこんなにも気が合う仲間がいるんだ・・・と、子どもたちと息が合っていて感激しています。ありのままの自分を見せて遊んでいます。

お次は、依田（大井）順子 さん



臨嶺会会員の近況報告

短5 浜田（中川）美奈 さん

『穏やかな日々』

地元の公立病院に5年間勤務した後、結婚退職して専業主婦に。子育て中には子どもが起立性調節障害（OD）になり、朝起きられず不登校に。最初は「朝起きられない」ことが信じられなくていろいろなバトルもありましたが、そのおかげで親子関係はとてよくなり、私の中で大きく価値観が変わるギフトのような出来事になりました。その後義母を看取り、最近はゆっくりする時間もできたので医療や食の講演会に出かけたり、のんびりと穏やかな毎日を過ごしています。学生の頃松本や美ヶ原で見上げた美しい星空を、またみんなで見てみたいですね。

お次は、中村潤子 さん（編集委員会推薦）

短6 垣内秀夫 さん

『私の癒し』



平成20年11月に川越へ引越してから始めたバラ栽培です。狭い庭で、まだまだ初心者ですが、最近やっとバラの土の作り方がわかってきました。



4年ほど前から会社の同僚に誘われて復活した山歩きです。写真は平成24年秋に大好きな北穂高小屋のテラスで撮影。

お次は、奥本正光 さん（編集委員会推薦）

短7 柳澤（小林）久美子 さん （パンの家 エssen）

『山に魅せられて』

短大時代信濃路研究会で槍ヶ岳に登ったのは遠い日の良き思い出。今は山に登るのが楽しくて仕方がない日々を送っている。山頂からの眺望、青い空、御来光、満点の星、お花畑・・・が私の癒やし。

お次は、小口（唐沢）ひろ子 さん



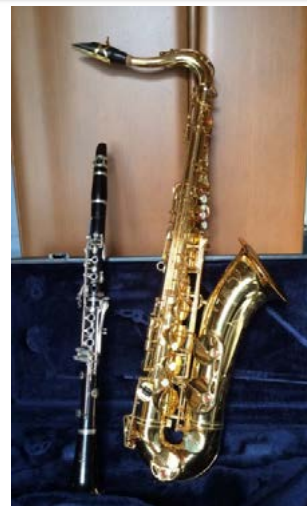
短8 久保田（三戸部）真美 さん（北信総合病院）

『私の癒やし』

中学で吹奏楽に入りテナーサクソフを吹き始めた娘。その魅力にどっぷりハマり3年間頑張り抜きました。（私も大会にはよく出かけましたが、今の中学生の演奏の技術には驚かされます！）今は受験を控え部活もなくなりましたが、時折、ジャズを吹いて聴かせてくれます。これがなかなかの腕前！…親バカですね…。

私も昔中学で吹いていたクラリネットを修理して、いつかは二人で吹けたらいいなあー、と思う今日この頃です。

お次は、百瀬裕子 さん（編集委員会推薦）



臨嶺会会員の近況報告

短9 土屋巨美 さん
(独立行政法人 岐阜県立多治見病院)

『信大話で』

職場には4名(37名中)の信大卒業生がいます。時折信大話で盛り上がります。写真は左から各務さん(短11)、高梨さん(短15)、土屋(短9)、八島さん(短15)。皆夏の暑さにもめげず「多治見」で元気にやっています。

お次は、高原幸代 さん



前月号(第35号)近況報告より



「ベストショット」 保7回生卒 池田み奈美 さん

この日は大学院生で金沢へ。気合いを入れて深夜1時に松本を出発し、近江町市場で朝食→兼六園→ついに海に到着!と思ったら、誰一人として水着を持っていない!!この後、水浸しの男子の着替えをしまむらに買いに行くのは、女子の重要な任務です。



臨嶺会会員の近況報告

短10 中出（川縁）美穂 さん
（福井県労働衛生センター）

『自然』

店頭で応募して、日帰り旅行が当選すると、主人と行きます。食べたり、歩いたり、買い物したり楽しいです。

お次は、石川（伊藤）実枝子 さん
（編集委員会推薦）



郡上八幡



天橋立

短11 山崎（橋爪）美佳 さん
（富山協立病院）

『中部圏医学検査学会』

趣味と言えるものがない私が休日出かけようと思う所が美術館・博物館です。そのきっかけになったのがテレビの「開運なんでも鑑定団」です。「本物を見なさい」という鑑定士の言葉に触発されて行くようになりました。県内外本物を求めて行ってます。

そんな時、9月27日、28日の富山での学会の文化講演は鑑定士で富山大学大学院教授の大熊敏之先生でした。私は講師の先生の接待係。しっかりサインを戴いて番組の裏話など聞かせていただきました。とてもお話好きの先生で楽しい時間でした。

お次は、喜多村（三澤）尚子 さん



短12 濱田（太田）晶子 さん （東海大学八王子病院）

『山ガール???』

短大生の頃、北アルプスは眺めるものだった。まさか、あの峰々の頂に立つ日が来るとは思いもよらなかった。山で出会った百瀬慎太郎氏の「山を思えば人恋し、人を思えば山恋し」の言葉が忘れられない。もうすぐ半世紀の人生を折り返す。上でも下でも様々な人に出会い、助けられてここまでやって来られた。これからも、山に登るようにゆっくり歩みを進めていけたらと思う。山ガールなんて洒落たものじゃなくて必死の形相だけど（笑）…

お次は、丸山（宇留賀）美奈子 さん（編集委員会推薦）

短13 中林徹雄 さん （国保依田窪病院 技師長）

『腹部超音波勉強中』

現在私は松本市の東隣美ヶ原の向こうの長和町にある国保依田窪病院という病院に勤務しています。いまだ自宅は松本市ですので片道約40kmの峠越えの道のりを毎日通う日々を送っています。そろそろ雪が降りだすシーズンですのでタイヤをいつ替えようかなと考えています。（11月15日現在）さて私は検査技師として生化学・免疫分野を中心に現在まで仕事をしてきましたが、業務の都合上とうとう腹部超音波を習得せねばならなくなりました。検査、接遇など何もかも初めてのことですが、なんとか早くものにできるよう日々精進です。

お次は、高橋資子 さん（編集委員会推薦）

臨嶺会会員の近況報告

短14 福田（伊奈）由紀子 さん

『サッカー応援』

卒業から25年！皆様お元気ですか？私の住むここ静岡は、サッカーが盛んです。週末は、中学生になった息子の試合の応援に、ママ友達と出かけ、観戦を楽しんでいます。チームや子供の成長を感じることができるこの時間が、私の癒しのひと時です。

お次は、美野（畑）敦子 さん



富士山に抱かれ、ボールを追う

短15 長田裕之 さん（名古屋第二赤十字病院）

『創立100周年』

現在は愛知県清須市に住んでおり、名古屋の職場まで約1時間かけて通勤しています。通勤のJR沿線には清洲城（映画で少しは有名になった？）があり、この城を見るたびに松本城が思い出され、久しぶりに松本に行きたい衝動にかられます。

職場は今年、創立100周年を迎えます。ここ13年間くらいは病理検査を担当していますが、勉強することが多過ぎて四苦八苦しています。もう限界です。同窓生は岡嶋千恵（旧姓岡嶋）さん、水谷悟子さんがおり、部署は違いますが、みんな元気に働いています。先輩命令として、水谷さんに近況報告のゴーストライターを頼んだら、あっさり断られました。残念。

これからも一生懸命？働き、創立150周年の式典にOBとして招待されるよう、健康第一でがんばりたいと思います。

お次は、今村（栗幅）真理 さん（編集委員会推薦）



清洲城

短16 前（山口）博子 さん

（飯綱町立飯綱病院）

『私の楽しみ』

私の週末の楽しみは、中学校の野球部に所属している息子（中2）の野球の応援です。小学校3年から野球を始め、かれこれ数年来、朝早くから暗くなるまで、暑い日も寒い日も、野球中心の休日です。朝早く起きたり、土で汚れたユニフォームを洗ったり、大変ではありますが、メンバーの父母と一緒に応援し、大会で勝利した時の喜びは大きく、大人になって（この歳になって）こんなにも興奮し、感動することがあるものかと感じています。

息子の夢はプロ野球選手！ これからも、マネージャーとして、そして熱烈なファンとして応援する日が続きそうです。



お次は、内田（田幸）美咲 さん

臨嶺会会員の近況報告

短17 佐藤卓也 さん

『犬飼ってみませんか?』

昨年、長女が高校を卒業し理学療法士を目指し進学しました。早いもので私が松本で過ごした年齢に、自分の子供が成長しているんですね。また長男は高校生、既に医療系の進学を目指し勉学に励んでいます。子供たちはすっかり成長し親離れ進行中ですが、わが家にはもうひとり（1匹）離れられない存在であるワンコがいます。『ウェルシュコーギー9才』すっかり高齢になりましたが、わが家の癒しの存在です。

コーギーはイギリス原産の犬ですが、そのイギリスにはこんな諺があります。

『子供が生まれたら犬を飼いなさい。子供が赤ん坊の時、子供の良き守り手となるでしょう。子供が幼年期の時、子供の良き遊び相手となるでしょう。子供が少年期の時、子供の良き理解者となるでしょう。そして子供が青年になった時、自らの死をもって子供に命の尊さを教えるでしょう。』

犬、飼ってみませんか?癒やされますよ。

お次は、白石（篠原）淑子 さん（編集委員会推薦）



短18 清野（山本）貴子 さん

（厚生連北信総合病院）

『寝顔』

中学生、小学生、保育園児の3人の子育てと仕事、主人の両親との同居など、慌ただしくストレスも多い毎日ですが、子供の寝顔に勝る癒しはありません。明日のために早く寝なきゃ!と思いつつ、ずーっと眺めてしまいます。

お次は、吉田（福井）秀子 さん



短19 高松（山田）知恵 さん

『ウチ飲み女子会を楽しみに』

今春、新幹線金沢開通や朝ドラ「まれ」で話題の石川県にて子宮ガン検診で採取された液状検体の標本作製を主に病理検査室でパート勤務しています。TDR、温泉やママ友とのウチ飲み女子会を楽しみに過ごしています。

お次は、橋本（直江）みちる さん



小学生の子供たち、ミニーちゃんと一緒に♪

臨嶺会会員の近況報告

短20 山田美佳 さん

『私の職場』

私は塩尻市にある病院で働いています。臨床検査技師は私一人、ほぼ看護師さんに間違われます（笑）。一人で何かと大変な事もありますが、いろいろな職種の人たちの支えや、また週一回内科医として来ている短大時代の恩師から癒やしと刺激を受けながら、良い職場環境で充実した日々を送ることができています。

これからも患者の気持ちを忘れずに、地域に密着したこの病院で臨床検査技師として貢献していければと思っています。

お次は、千野忍 さん

短21 中安（中坪）香代子 さん

『私のいやし』

私には、中学1年生と小学4年生の娘がいます。家事、仕事と毎日慌ただしいですが、私の癒やしは、家族と過ごす時間です。学校行事を見る機会には出席し、二人の娘の成長を見ることを楽しみにしています。

お次は、山口（宮坂）美穂 さん



短22 東谷（永田）真由美 さん

『「ふらのメロン」いかがですか？』

北海道富良野にて臨床検査技師の資格とは全く関係のない農業の世界で、時々トラクターを乗り回しながら玉ねぎ・メロン・米・小麦と日々奮闘しています。農繁期は4時半に起床し、子供達を「遅い！早く！！」とまくしたてながら保育園に7時30分に送り届けるという、学生時代の自分からは誰も想像もできない毎日です。

最後に、お中元に東谷農園（<http://higashitani-farm.net/>）の「ふらのメロン」いかがですか？（笑）

お次は、重藤（久保田）聖子 さん
（編集委員会推薦）



短23 宮崎初美 さん

『苦手から好きに?!』

臨床検査技師として働きはじめて約12年、現在は金沢大学附属病院 検査部で働いています。只今、学生時代とても苦手だった、そして、人見知りで、できうるなら避けたかった生理機能検査室に配属中です。もう8年目突入・・・人間やればできるものです。この人見知り、患者様とのおしゃべりに癒されています。日々忙しく、プライベートが疎かになりがちですが、来年度は公私ともに充実させるぞと意気込んでいます。

お次は、松本千晴 さん
（編集委員会推薦）



臨嶺会会員の近況報告

短24 赤羽（船木）圭美 さん

『私の癒し』

私の癒しは、なんといっても二人の子供。検査センターでの深夜勤務と子育ての両立はかなり大変だけど、家に帰って、二人仲良く並んで寝ている姿をみると、疲れも忘れられるんですよね・・・。

お次は、土岡（小林）久美 さん



短25 立澤（犬飼）有香 さん（長野県立こども病院）

『我が家のいやし』

卒業して長野県内の県立病院に就職し、転勤を経て現在は長野県立こども病院に勤務しています。生理検査を担当していて、日々病気と戦うこども達に接しながら、その生きる力に驚き、早く元気になるようお願いしながら日々の検査に取り組んでいます。

忙しい毎日に追われながらのひとときの癒しは、実家でかっているセキセイインコです。ヒナの頃から育てたので人なつこく、部屋のなかをちょこちょこ歩いたり手に乗ったり、人の言葉をまねしてしゃべるようにもなりました。犬や猫とはまた違ったかわいらしさに、毎日癒されています。小さな命をいろいろなところで感じる毎日です。

お次は、川田（齊木）静香 さん（編集委員会推薦）



短26 中島（河口）裕美 さん

（聖隷浜松病院 臨床検査部）

『ひとつの布団で・・・』

お久しぶりです。卒業して12年、認定輸血検査技師を取得し、微力ですが技師会活動のお手伝いもさせていただいています。そんな中、ワーキングマザー歴も5年目に突入。ワークライフバランスの取り方に葛藤の日々ですが、無事に過ごせているのは、職場の理解・家族の協力・保育園の先生・なにより健康が取り柄の子供たちのおかげと感謝いっぱいです。あっという間に一日が終わっていきませんが、唯一の癒しは「お母さんと寝る！」と言い、母子3人でひとつの布団で眠りにつく瞬間です。しかし、早く自分の時間も欲しいなとも思う、よくばりな母です。

お次は、長瀬（小平）明美 さん（編集委員会推薦）



臨嶺会会員の近況報告

短27 只（武藤）博美 さん（美濃市立美濃病院）

『日々挑戦』

「やらずに後悔するなら、まず挑戦しよう!!」と過ごした学生時代。

その精神は健在で、昨年、主人が単身赴任となる中、娘達を保育園に預け、再就職しました。全ての分野の検査を4人の技師で行っており、学生以来の検査に悪戦苦闘の日々ですが、充実しています。お次は認定資格取得に、3人目!?!と挑戦は続きます。

お次は、福島（山口）香織 さん（編集委員会推薦）



短28 磯村智子 さん

『超音波検査の勉強』

私は入社して健康診断に携わり生理機能検査を行っていますが、今楽しいのが超音波検査の勉強です。超音波検査自体は前から行っていましたが、自分の知識に不安を感じたのでいろいろな講習会等にて勉強しています。特に乳腺の勉強が楽しいです。愛知には有名な先生がいるので多くの勉強会がありがたいですね。勉強することで自分のスキルも上がるし後輩にも指導できるのでこれからももっと勉強して知識をつけたいです。

お次は、徳倉（小塩）幸子 さん

短29 関島（加藤）陽子 さん（東京女子医科大学病院）

『私の職場』

こんにちは。皆さんお元気でしょうか。

私は東京女子医科大学病院の腹部超音波検査室に勤務しています。業務内容は腹部以外に頸動脈、甲状腺、乳腺、下肢静脈などがあります。忙しくて大変だな、と思うこともありますが、多くの症例や患者さんから学ぶこともたくさんあり、やりがいのある職場だと思います。

学生時代にやや苦手だった分野に携わっていることは、今でもときどき不思議な気持ちになります。しかし、上司や同期に恵まれ、何とかやってこれたのだと思います。家庭と仕事の両立は大変なこともありそうですが、できる範囲で頑張っていきたいなと思っています。

お次は、及川昌洋 さん（編集委員会推薦）

保1 渡邊正博 さん（浜松医療センター）

『定年退職ラッシュ』

私の職場では50歳を超える職員が検査科全体の半数を占めます。あと10年もすれば新人が増え、職員の顔ぶれもガラリと変わるでしょう。10年後の検査科に必要な不可欠な存在となるよう努力と勉強の日々です。

お次は、山内みゆき さん



臨嶺会会員の近況報告

保2 市川達也 さん（国民健康保険上矢作病院）

『立山山頂にて』

地元の病院に勤めています。最近、登山を始め、9月に立山へ行ってきました。携帯用コンロで作った淹れたてのコーヒーは最高に美味しく疲れが癒されました。冬にはスノボでリフレッシュしたいと思っています。

お次は、BIJU さん



保3 金城浩和 さん

『骨折待ったなし!』

そろそろ婿入りを考え始めている金城です。お久しぶりです。最近同僚とボルダリングを始めて、仕事終わりに通って楽しんでいます。中々スパイティーにはいかず、翌日筋肉痛で仕事にもならず。

色々決断する時かもしれません。

お次は、亀澤弘憲 さん



保4 山内淳平 さん（名古屋第一赤十字病院）

『バスケット』

私の職場は愛知県にある名古屋第一赤十字病院です。私が入社する年に建て直しが完了してもきれいな病院で毎日奮闘しながら働いています。

うちの病院には、運動や文化系の部活動があり、私はバスケットボール部に所属しています。月に2、3回は練習を行い、年に1回の赤十字大会に向けて頑張っています。この大会では全国にある赤十字病院のチームと試合をしますが、長野県の赤十字病院（飯山・諏訪・長野）とも試合をします。そこで大学時代の友人や先輩と再会といった嬉しいこともあります。しかし、年々身体が思うように動かなくなっていることを実感します。これが老いというものなのですね…。なんとか子供の運動会までは走れるようにしたいものです。写真は我がチームの優勝記念写真です。



お次は、吉廣めぐみ さん（編集委員会推薦）

臨嶺会会員の近況報告

保5 市川尚子 さん (市立甲府病院)

『旅行』

私の癒しは、森林浴や庭園巡りなど緑に触れたり、昔の街並みを散歩したりすることです。写真は今年の夏に行った倉敷美観地区です。旅行をしてリフレッシュすることが仕事を頑張る活力になっています。

お次は、宮崎彩織 さん



保6 上村美華子 さん (近畿大学医学部附属病院 中央臨床検査部)

『私の職場』

就職して3年目になりました。ようやく仕事に慣れ、迷惑をかけずにルーチン検査をこなせるようになっているはずでしたが、9月に部署が移動となり、2年半ぶりに何もできない人になりました。先輩方の指導のもと、色々なことを学んでいます。一般検査とは違い、緊急検査はとても忙しく感じます。要領よく動くことができるようになるにはもう少し時間がかかりそうですが、頑張っていきたいと思います。

お次は、中西美幸 さん

保7 宮部知佳 さん
(日立アロカメディカル株式会社)

『私の癒し』

私の癒しは小旅行に出かけることです。写真は先日訪れた山形県の立石寺のものです。仙台に引っ越して一年。これからも美しい自然を求めて出かけようと思います。皆様もぜひ東北にいらしてください。

お次は、小林純 さん



保8 山崎春奈 さん
(信州大学大学院医学系研究科保健学専攻)

『私の癒し』

私の癒しは愛犬マイロと過ごす時間です。帰宅時には可愛いお出迎え、夜は一緒に眠ります。

休日は膝の上で丸くなるマイロをなでながらゆったり過ごします。今日もマイロに癒されて、また明日から頑張ります！

お次は、山本麻瑚 さん



わが家のあいどる

お疲れ様でした

病因・病態検査学（病理検査学） 羽山正義先生

平成27年3月末で定年退職することになりました。私は昭和47年4月に竣工した新しい中校舎で1年間過ごし、定年を迎えた最後の一年間を、自分が設計した新しい実習室で実習を行って去っていくという、何とも運命的な時のめぐり合わせを経験することになりました。本学に教員として着任してちょうど10年、この10年間は私の人生設計にはまったくなかった人生の一コマでしたが、将来が無限大の若い学生諸君と日々接する生活は、私にとって掛け替えのないエネルギーの注入場所でした。教員としての資質は疑わしく反省の念が付きませんが、アルプス登山やスポーツ大会、飲み会、手作り料理のクリスマスコンパ、松本市営球場を借りての野球大会など、気持ちの老いる暇もなく過ごさせていただき感謝しています。



昭和47年から今日まで40年余りの歳月が経過したことになります。現在の臨床検査は私の学生時代に比べると想像もつかないほど変わったと思います。これから40年先の検査はもっと加速して変革していくことが想像できます。将来、検査技師に求められる役割は、単に検査データを提供するだけの職種にとどまっていられるのか気になるところです。最近、「NHKスペシャル」で膨大な医療データの活用が紹介されていました。例として、新生児集中治療室に入院する赤ちゃんの感染症をビッグデータから「予知」するシステムの開発（アメリカ）、がん患者の医療情報を毎日徹底的に体温や、心拍数、トイレ回数などまで記録し、患者の早期退院に役立てる取り組み（済生会熊本病院）などが紹介されていました。今後、医療におけるビッグデータの解析とそれに基づくシステムの開発が進み、検査領域に直接的・間接的に影響してくることが推察されます。疾患の予知と早期退院に向けた取り組みは、検査件数の減少につながるかもしれませんが、正確なデータを提供するだけの臨床検査技師の需要は減少するかもしれません。教育現場は多様化する医療現場の実情を踏まえたカリキュラム内容の変更を迫られていることをもっと認識すべきです。こんなことを書いてしまうと学生諸君の夢を殺してしまうかもしれませんが、学生諸君には今までの検査技師のイメージにとらわれず新しい検査技師の道を開拓するくらいの意気込みで、成長して行ってほしいと思います。



定年後、私はしばらくの間本業の臨床検査技師に戻る予定です。今度は大学・大学病院から一歩踏み出して、民間病院の病理の技師として働く予定です。役に立つ技師になれるか不安ですが、老後の道楽程度にテクニシャンとして「技術と大学で得られたプラスαの知識を生かした面白い仕事」を楽しみたいと思っています。

お疲れ様でした 生体情報検査学 電子文子先生



本年3月末をもって、長い間お世話になった信州大学を退職し、4月からは福岡にある純真学園大学に移ります。この会報が皆様の手に渡るころ中校舎のリニューアルも完成し、昨年度末完成した北校舎とともに、卒業生皆様が学んだ古い校舎の面影はまったくなくなり、懐かしく訪れていただいたときにはびっくりされることと思います。その真新しい研究室へは戻らずに退職することを決意しました。常に同じ年代の学生さんと接し続け、刺激を受けてまいりました。入社した当時は、同年代、しばらくしてお姉さんのように、そして今はお母さん？のような立場で、ときには口やかましく接したかもしれません。卒業生のお顔は1500名、ほとんど覚えております。臨嶺会の名簿の管理をしておりますので、お名前を見ながらなつかしく思い起こしております。私たち女性3人、寺澤先生と小穴先生とともに、女生徒が圧倒的に多いこの大学で大きな役割をはたしてきたと思っています。今の私は、ChangeとChallengeという言葉を胸に、この年齢ですがさわやかな気持ちで新しい地、新しい大学での臨床検査技師教育に夢を馳せています。ほんとうに多くの方々に支えていただきました。感謝しつつせませんが、臨床検査技師という国家資格は、とても素晴らしいライセンスです。臨床検査技師となったことを『本当に良かった』『幸せです』と卒業生が思ってくれる教育をこれからもしていきたいと思っております。

これまで本当にありがとうございました。皆様とどこかでまたお会いできることを楽しみにしております。福岡へお越しの際は、どうぞお声をかけてください。

信州大学医学部保健学科、教員の皆様のご繁栄を心よりお祈りいたしております。お世話になりました。



ようこそ 病因・病態検査学（微生物学） 長野則之先生

この度平成26年9月1日付けで病因・病態検査学講座臨床微生物検査学の教員として着任致しました。不慣れなことも多々ございますので臨嶺会の皆様方におかれましては種々ご指導賜れます様宜しくお願い申し上げます。

私は千葉県の上野市出身で、これまでフナッシーで一躍有名となりました船橋市所在の船橋市立医療センター 微生物検査室に30余年勤務しておりました。細菌の生物学的多様性と日々対峙する最前線にある細菌検査の担う役割は重要であり、従来の感染症はもとより新興再興感染症、多剤耐性菌感染症に加え、これから後出現し得るであろう未知の感染症に対応することが求められています。このような状況のなか、複雑多様化する病原体、病原因子、薬剤耐性因子等の検出、解析を行い、診断や予防、治療、さらには感染制御につなげられるような実践的な医療技術者や研究者の存在が必須と思われまふ。このような臨場感あふれる教育の実践を心がけていきたいと思っております。

ここ信州松本の地に降り立ち自然豊かな環境の中で新たな気持ちで頑張っていきたいと思っております。

カミングホーム

臨検1回生は、昭和50年に19名で卒業しました。その後クラス会をたびたび行ってきました。幹事と場所は、長野・松本・南信地区に分けて、順番で行っています。

一昨年は卒後40年のカミングホームデーを行う予定で、初のお泊まり会を下伊那の屋神温泉で行いましたが、家族の状況などで無理な方も多く、いつもより人数の少ない集まりになってしまいました。そこであらためて10月25日(土)にホテルブエナビスタの“聖紫花”で行いました。久しぶりの出席者も交え13名。残念ながら特別な用事や、家の用事で出席できない方がありました。

会場ではおいしい中華を頂きながら、私達の年代に一番かわりのある介護や健康の話、美容・趣味・野菜作りそして学生時代の事など々で話が弾み、大笑いしたり、時にはしんみり聞き入ったり、はたまた講習会のごとく・・・と話がつきませんでした。本当に仲の良いクラスだと思います。それから「私達のクラスは全員が元気でそろっているね！すごいね！」と皆の声・・・。もしかしたらクラス会で、元気のパワーをもらっているのかも・・・。「今度は長野で～す！」・・・連絡の来るのが楽しみです。



臨検1回生
蜜沢 裕子



短大9回生
五味 三寧子

2014年11月1日。福岡市のレベルファイブスタジアムでは松本山雅FCのJ1昇格をかけた試合が、信州大学松本キャンパスでは「infinity」をテーマに第49回銀嶺祭が、そして浅間温泉梅の湯では医短第9回生の同級会が行われました。

今回の同級会のきっかけは3月に手もとに届いた臨嶺会会報でした。今年が卒後30年の節目の年にあたることに気づき、久しぶりに同級会を開かねばと使命感が燃え上がりました。そうは言っ

ても同級会幹事は初めてのことだし、少しばかり心細くもありました。

当日は朝から雨の降るあいにくの天気でしたが、13名の仲間が集まりました。卒業してから30年、でもみんな変わってなくて驚きました。特に声やししゃべり方って本当に学生の頃と変わらないですね。顔を合わせてから就寝まで（もちろん日付は変わっていましたが）、宴会の前も後もみんなで1つの部屋に集まりいろんなことを語りあいました。病院実習のエピソードでは30年たって初めて知った！なんてこともあり、みんなで大盛り上がりしました。

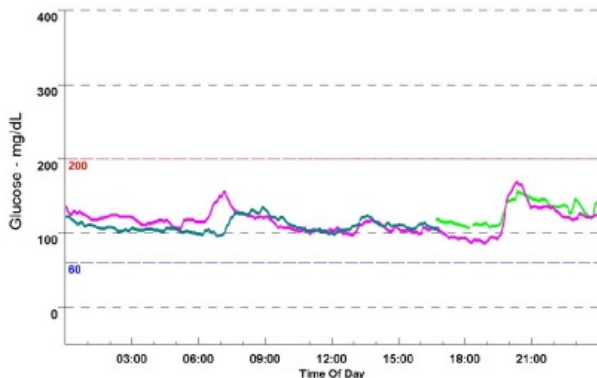
翌日は次回と次々回の同級会の仮約束（3～5年後に名古屋、10年後に松本）をし、名残惜しみながら解散となりました。いろいろ至らない点もあったかと思いますが、みんな暖かくて、ほんとに同級生っていいものですね。今回、一緒に入学した仲間にも会いたいねという声が多くありました。次回はどうなるでしょうか。みんなに再会できる日が今から楽しみです。

糖尿病診療における持続血糖モニター

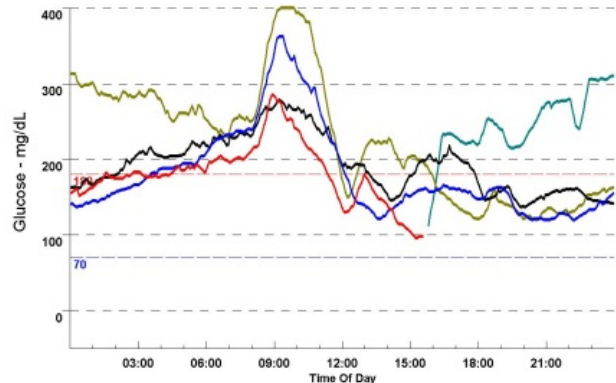
糖尿病は成因別に1型と2型、他に特定の機序・疾患（遺伝子異常、腫瘍性、膵摘後、薬剤性など）によるものや、妊娠糖尿病などに分類されます。日本では約950万人の糖尿病患者が存在し、その9割は2型糖尿病、約5%が1型糖尿病とされています。

膵β細胞が破壊され、絶対的インスリン欠乏の状態となる1型糖尿病は、生涯にわたり毎日数回のインスリン自己注射を行う必要があります。完治する可能性のある膵臓移植や膵腎同時移植は全国で年間10例程度で、平均待機期間約4年と非常に狭き門です。1型糖尿病患者にとって血糖自己測定（Self-Monitoring of Blood Glucose：SMBG）はインスリン量の調節や、低血糖・シックデイの対処に非常に重要です。しかしSMBGでは、睡眠中や多忙な状況など自己測定困難な時間帯の血糖値はわかりません。患者も医療者も、想像の世界で点を線にして対応してきました。

2010年、血糖を連続的に自動計測する機器（Continuous Glucose Monitoring System：CGMS）が日本で初めて認可されました。CGMSは約5日間に亘って皮下に留置したセンサーで組織間質液中の糖濃度を連続測定（10秒に1回受信し、5分間の平均値を記録）できます。但し、間質液中の糖濃度と血糖値との間にはtime lag（血糖値より10～15分程度遅延）があるため、血糖測定によりCGMSの数値を補正する必要があります。患者にはセンサー穿刺の痛みや常に装着している事への違和感・痒みなどを伴いますが、本機器の導入により血糖変動をモニターしながら根拠に基づいた薬剤選択やインスリン量の変更ができるようになりました。また、SMBGでは見つけられなかった夜間の重篤な低血糖や、食後高血糖への的確な対応が可能になりました。今ではCGMSで得られた血糖曲線は、患者の納得を得るために欠かせない検査データとなっています。

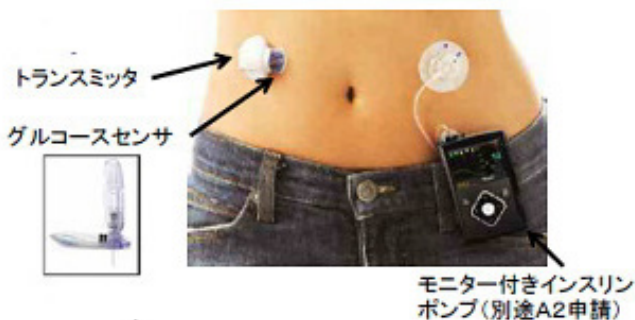


① 健常人の血糖パターンの例



② 1型糖尿病患者の血糖パターンの例

（図：佐久市立国保浅間総合病院、院内インスリン使用マニュアルより）



③ SAPの装着イメージ

ミニメド620Gシステム（日本メドトロニック）
<http://www.medtronic.com/jp-jp/index.html>
<http://dm-rg.net/news/2014/11/015308.html>

<最新情報>

日本で初めて認可された血糖モニター付きインスリンポンプ（Sensor Augmented Pump：SAP）です。血糖変動をリアルタイムにモニタリングでき、その傾きから低血糖や高血糖を予測し、自ら設定した閾値において予測アラームを鳴らすことができるという優れものです。つまり「何分後に低血糖になりますよ」と教えてくれるので、低血糖を起こす前に対処が可能になります。このデバイスは知識・知恵さえあれば限りなく人工膵臓に近いものになると非常に期待されています。

（短28 森本 光俊）

松本便り



北校舎がリニューアル

北校舎と通路が真っ白に塗り替えられ、とても綺麗！



地域保健推進センターが完成

北校舎に隣接し、保健分野での地域貢献を推進



- ・学内関連部局・行政機関・保健医療福祉関連団体・関連職能団体・企業等との連携を図り、保健分野におけるニーズとシーズのマッチングと展開。
- ・学部生・院生を対象とした教育・研究活動、地域で活動している医療職者を対象とした研修・教育、根拠に基づいた実践を推進するための研究活動など、組織的な展開。
- ・地域住民を対象とした研修や啓発活動。

衛生検査技師学校創立から半世紀。木造校舎で学んだ先輩たちは、なんて素晴らしい環境で勉強できるんだろうと思われることでしょう。



分析系実習室



微生物実習室



形態系実習室



学生自習室と売店（りんでん）
（北校舎1階）

実習室ラインアップ

学生の皆さん、先輩たちの分まで勉学に励んでください。

応援してるよ。

着々と耐震改修工事が進んでいます。



現在、中校舎を改修中。



中校舎玄関の様子。
これから、どのように変わっていくのか

卒業生の進路



保健学科9期生 卒業生37名 (H27年3月卒業) H27年2月1日現在 () 内人数

就職：30名

長野赤十字病院(1)、諏訪中央病院(1)、諏訪湖畔病院(1)、伊那中央病院(1)、山梨県立病院機構(1)、甲府共立病院(1)、関野病院(1)、菊名記念病院(1)、亀田総合病院(1)、茨城県立こども病院(1)、国際医療福祉大学病院(1)、名城病院(1)、名古屋記念病院(2)、愛知県がんセンター(1)、名古屋臨床検査センター(1)、JA愛知厚生連安城厚生病院(1)、豊橋市民病院(2)、可児とうのう病院(1)、静岡市立静岡病院(1)、聖隷浜松病院(1)、聖隷三方原病院(1)、公立陶生病院(1)、中津川市民病院(1)、大垣市民病院(2)、JA三重厚生連病院(1)、国立病院機構東海北陸ブロック(1)、PL病院(1)

大学院進学：7名

信州大学大学院医学系研究科保健学専攻(博士前期課程)(3)、信州大学大学院医学系研究科医科学専攻(修士課程)(4)

大学院医学系研究科博士前期課程保健学専攻7期生 修了生8名 (内社会人1名)

就職：6名

東京都立病院(1)、岐阜大学医学部附属病院(1)、浜松医科大学医学部附属病院(1)、金沢大学附属病院(1)、福井大学医学部附属病院(1)、和光純薬工業株式会社(1)

進学：1名

大学院医学系研究科後期課程保健学専攻5期生 修了生1名 (内社会人1)

事務局からのお知らせ

会報発送の業務委託

前号までは、松本キャンパスおよびその周辺に勤務・在住の同窓生にお手伝いいただき発送作業を行ってまいりました。中校舎の耐震改修工事に伴い発送作業が困難となり、また、事務局の今後の体制を考慮しまして、本号より株式会社成進社印刷との間で「業務委託基本契約書」および「秘密情報の保持および個人情報の保護に関する覚書」を締結し、発送作業の業務委託をすることとなりました。

カミングホーム

平成27年の該当は次のとおりです。

卒後10年：短大30回生(平成18年3月卒)

卒後20年：短大20回生(平成8年3月卒)

卒後30年：短大10回生(昭和61年3月卒)

卒後40年：臨検2回生(昭和51年3月卒)

臨検会として補助、協力(例えば構内見学など)をいたしますので、同級会を開催し旧交を温めてください。

すでにカミングホームの該当年を迎えられ、これから同級会を開催する学年につきましても補助をしますのでご連絡ください。

卒業後の証明書申し込み方法

卒業証明書、成績証明書等の申込みは、郵送および窓口のみの受付となります。詳細は「信州大学医学部」ホームページの「卒業生の方へ」の「卒業証明書発行について」をご覧ください。

<http://www.shinshu-u.ac.jp>

[/faculty/medicine/alumni/certificate.html](http://faculty/medicine/alumni/certificate.html)

会費未納の方へ

臨検会は皆様の会費により運営されております。会費未納の方には、平成25年の第34号までは未納金額のお知らせを同封していましたが、昨年より同封いたしておりませんが、未納の方は下記振込先への納入にご協力ください。また、カミングホームなどの際に納入のお願いをさせていただきます。

振込用紙の通信欄に衛・臨・短何回生、会員番号を必ず記載してください。

振込先 ゆうちょ銀行

口座番号「00520-0-20187」

加入者名「臨検会」

なお、保健学科卒業生は保健学科同窓会に納入ください。

事務局への連絡方法

改姓・住所・勤務先等の変更が生じた場合は、必ず事務局へご連絡くださいますようお願いいたします。方法はメール、ハガキ、封書いずれでも結構です。

2014年のできごと

- 2月 7日(金) 接遇対策セミナー（3年生対象、臨嶺会として支援）
- 3月25日(火) 信大松本地区卒業式・学位記授与式
- 4月 4日(金) 信大入学式
- 12月10日(水) 就職・進学支援セミナー（2・3年生対象、臨嶺会として支援）
 講師：日高恵以子さん（長野県立こども病院 短大4回生）
 犬飼ともみさん（医療法人豊田会刈谷豊田総合病院 保4期生）
 新井 慎平さん（信州大学医学部附属病院 保4期生）
 唐木 幹次さん（諏訪赤十字病院）



編集後記

前号の近況報告の中から選定しました「キラッ」の衛3の樋口（小谷）康子さん、絵画（油絵）の趣味が高じて個展を開いていた背景には、なんと美大に進み卒業された事実があり、生き生きとした素敵な人生を歩んでおられました。「ほんわか」の短21の長井 円さん、象と一緒に写っている姿は、本当にほのぼのとした気持ちにさせて頂きました。「ニヤッ」の短4の植村（上田）いずみさん、地中海ペアクルーズは残念ながら叶いませんでしたが、ハラハラ、ドキドキした中で手に入れたアタックチャンスに、さぞ頼の筋肉が緩んでしまった事でしょう。他、「ベストショット」として特別に保7の池田み奈美さんの写真を挙げました。楽しさ溢れる瞬間が感じられます。今回近況報告を頂いた同窓生から「指名された方以外でも、寄稿したい方がいればもっと楽しくなるよね。ご無沙汰している同級生の近況がとても楽しみなのに、全員回るのに何年も掛かるよ」といったご意見がありました。もし寄稿して頂ける近況が御座いましたら、ボリュームの関係上、すべてとはいきませんが、編集委員会で審議の上、掲載を考えていきたいと思っておりますので、どしどしお寄せ下さい。

今年度で病因・病態検査学講座准教授の羽山先生が定年退職され、また生体情報検査学講座助教の亀子先生がご栄転のため退職となります。長年にわたり本当にお疲れ様でした。今後、一層ご自愛なされ、元気にご活躍される事を心よりお祈りいたします。一方、川上先生の後任として病因・病態検査学講座に長野則之教授が赴任されました。今後とも宜しくお願い致します。

編集委員会では、常時、特集記事を募っております。何か興味深いことがありましたら、是非ご一報ください。お待ちしております。

(2015.03.01 石川伸介)

臨嶺会会報 第36号

臨嶺会会長	奥村伸生
事務局	寺澤文子
	小穴こず枝
編集委員会	亀子文子
	石川伸介
	川崎健治
	重藤聖子
編集協力	沖村幸枝
	赤羽昌子
	小嶋俊介

印刷 株式会社成進社印刷

臨嶺会事務局

〒390-8621 松本市旭3-1-1

信州大学医学部保健学科検査技術科学専攻

Tel. 0263-37-2387（ダイヤルイン）

Fax. 0263-37-2370（保健学科事務部）

e-mail kensa@shinshu-u.ac.jp

臨嶺会ホームページ

<http://www.mhoken.jp/rinreikai/>